

協定企業名	(株)ルネサステクノロジ
交流行事名	「ルネサスフォレストランド2009」
開催日時	平成21年10月3日(土) 午前9時から午後1時まで
開催場所	高知県立香北青少年の家 高知県香美市香北町吉野 1300
主な参加者・人数	(株)ルネサステクノロジ従業員とその家族、地元の親子 香美市、香南市、森林管理署、森林組合、県企業立地課・環境共生課 参加者 100人
交流行事の概要	<p>(1) 木の葉クイズ (森林管理署) 17種類の木の枝葉をテーブルに並べ、その名前を書き当てるクイズゲームを行いました。</p> <p>(2) 紙芝居「森」 地元の森林組合の職員がストーリーを考えた手作りの紙芝居をルネサステクノロジの女性4人がこどもたちに読み聴かせました。</p> <p>(3) 丸太切り大会 香美市内の間伐材の丸太(直径15センチほどある杉・ヒノキ)を、のこぎりで切って競争。成人男性・成人女性・子ども(男子・女子・小学校低学年)の部に分けて行いました。加えて、企業、市町村、森林組合、監督署、県対抗戦も行いました。</p> <p>(4) 木工クラフト (森林管理署) 「ウサギ付き写真立て」を木工用ボンドでくっつけて作成しました。材料は、森林管理署の職員が数日かけて準備してくれました。ウサギ部分はミズメと桜、写真立て部分は杉でした。</p> <p>(5) ビンゴ大会 昼食後のイベントはビンゴ大会でした。商品は、一位牛肉一キロ、二位アイスクリーム、三位黒豚肉、四位カニ缶、その他洗剤、お菓子、タオル、ボールペン等でした。</p> <p>(6) CO2吸収証書授与及び記念撮影 CO2吸収証書(61二酸化炭素トン)の授与が、閉会式で行われました。</p>

<p>交流参加者の声</p>	<p>(1)木の葉クイズについて (企業従業員) 葉っぱをみても、名前が出てこない。周りにはあるはずの自然を、こんなにしっかりと見ていなかったと気づかされた。</p> <p>(2)間伐材の丸太切り大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(父親参加者)丸太を切るときは、チェーンソーを使ってしまうので、のこぎりは久しぶりに使った。疲れた。腰が痛い。 ・(母親参加者) 日ごろ自然に接する機会をこどもたちと作れていない。のこぎりは、引くときに力を入れるものだとか、節のあたりは切りにくいか、杉はヒノキより切りやすいなどという知識がこどもたちに今回の体験を通して伝わったと思う。 ・(森林管理署職員) プロ根性で勝った。実は、のこぎりは年に2回くらいしか使わない。とにかく勝ててよかった。 ・(企業役員) 協働の森の交流イベントは、3年前にした間伐体験が強烈に印象に残っている。チェーンソーで木を切る体験は、そのときが初めて。それ以来、山の手入れがされているところとそうでない森林との区別がつくようになった。悪い状態の森を見ると、「ああこれでは駄目だ。また間伐に行きたい」と思うようになった。また、木を切る体験は気持ちがよい。光が森に射し込み、見違えるのがわかる。 今回は、前日の雨によって山の足場が悪く、雨天スケジュールを晴天のなかで行わなければならなかったことが残念だ。今後も、より一層社員の家族・こどもがもっと参加してくれたらと思う。
<p>特記事項</p>	<p>折り紙の昆虫、間伐材の記念品コースター(企業名焼き印付き)や香北町出身のやなせたかし氏にちなみ「あんぱんまんのステッカー」がこどもを中心とする参加者に配布された。</p>

<p>当日の様子</p>	<p>①木の葉クイズ</p> 	<p>②折り紙昆虫のプレゼント</p> 
<p>③紙芝居</p> 	<p>④丸太切り大会</p> 	
<p>⑤木エクラフト</p> 	<p>⑥記念撮影</p> 	